

令和 6 年度 学校評価のまとめ



【津田っ子運動会『みんなで運ぶぞ！縦割り大玉運び』より】(R6.5.18)】

令和 7 年 1 月 豊橋市立津田小学校

教育目標「夢をもち、心ゆたかに逞(たくま)しく生きぬく子」の育成を

- 学校評価アンケート調査の結果を踏まえて -

本校は、新型コロナが第 5 類へ移行し、教育活動への制限が緩和されたことを受けて、今年度は、これまで制限されていた体験的な学習や校外学習に積極的に取り組むことにしました。

5 月に開催した津田っ子運動会では、全校競技の班対抗リレーを昨年度の反省を受けてシンプルなルールでチームの団結力を高める大玉送りに変更しました。6 年生を中心に下級生がまどまって競技に取り組み、勝負は、最後まで赤白どちらが勝つかわからない大接戦。運動会は、大いに盛り上がり、評価と改善は、教育活動において大切なものであることを再認識しました。

令和 6 年度の教育活動を振り返り、改善するために、12 月に保護者・教職員・児童に Web アンケート調査を実施しました。保護者からの回答結果は、すべての問いにおいて、A（そう思う）と B（どちらかといえばそう思う）を合わせた割合が 90% 以上となっており、本校の取り組みがご理解をいただいていることがわかりました。子どもたちの回答結果は、保護者の結果と比べるとやや低い数値とはいえ、90% に近く、高評価だといえることができました。





この学校評価のまとめには、アンケート結果や学習や生活の様子を伝える内容や保護者からのご要望・ご意見に対する回答を掲載しています。1 月には、学校評議員にもこのまとめの内容を報告し、「地域の人材を活用してほしい」「リーダーとして活躍できる子を育ててほしい」などのご意見をいただきました。

来年度は、学校運営協議会が発足し、コミュニティ・スクールとしての活動が開始します。地域と学校がともに考え、健やかで心ゆたかな逞しい子どもを育てられるよう努めてまいります。変化の激しい社会で津田っ子が夢に向かってがんばることができるように引き続きご支援をお願いいたします。

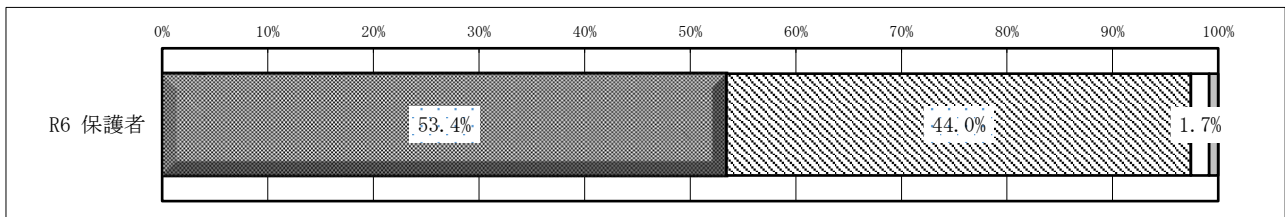
学校アンケートの結果（令和6年度） ☆このマークは児童用の質問内容です。

質 問 内 容	保護者 A+B	児童 A+B
1 学校はきめ細かい指導に努め、学習意欲と学ぶ楽しさを味わわせる取り組みを行っている。 ☆授業は内容がよくわかり、楽しいですか。	97.4%	92.8%
2 学校は思いやりの心や感動する心など、豊かな心を育てる取り組みを行っている。また、読書に親しむ態度の育成に努めている。 ☆友達や先生、家族など人の気持ちを考えて行動していますか。	96.5%	92.6%
3 私の子どもは学校で友達と仲よく過ごしている。また、学校はいじめの未然防止や相談体制の充実に努めている。 ☆困っている友達に声をかけたり、助けたりしますか。	93.1%	87.4%
4 学校は、子どもの話をよく聞き、よいところを認め励まし、自信をもたせようと努めている。 ☆先生がたは、困ったときなどに話を聞いたり、励ましたりしてくれますか。	90.3%	88.1%
5 学校は子どもの体力向上や心身の健康増進のための取り組み（外遊び、運動など）を行っている。 ☆強い心と体をつくるように力いっぱい体育や外遊びをしていますか。	92.2%	87.5%
6 学校は挨拶、係活動や当番活動、クラブ活動などを通して、社会性や責任感、役割意識、夢を育む取り組みを行っている。 ☆目標をもって最後まで係や当番の仕事に取り組むことができますか。	94.8%	94.2%
7 学校は施設設備の整備を適切に行い、安心して生活できる環境づくりに努めている。 ☆安心して学習したり、生活したりできるきれいで気持ちのよい学校ですか。	91.4%	89.1%
8 学校は子どもの登下校の安全確保のために、家庭・地域と連携して取り組んでいる。 ☆登下校や校外学習などで、マナーやきまりを守り、安全に注意して活動しましたか。	95.7%	89.3%
9 学校は授業や行事等を参観したり、話し合ったりする機会を適切に設け、意見や要望を聞き、改善しようと努めている。	95.7%	
10 学校からの文書やたよりは、わかりやすくタイムリーである。	90.5%	

令和6年度 保護者アンケート集計結果

 A そう思う	 B どちらかといえばそう思う
 C どちらかといえばそう思わない	 D まったくそう思わない

1 学校はきめ細かい指導に努め、学習意欲と学ぶ楽しさを味わわせる取り組みを行っている。



子どもたちの学習意欲を高めるために、地域素材や人材の積極的活用、映像や写真よりも本物に触れる体験、現場ならではの学び体験を大切にしています。特に生活科や総合的な学習の時間では、校区の「ひと、こと、もの」を活用した教材を実際に見て経験して学ぶ活動を取り入れました。

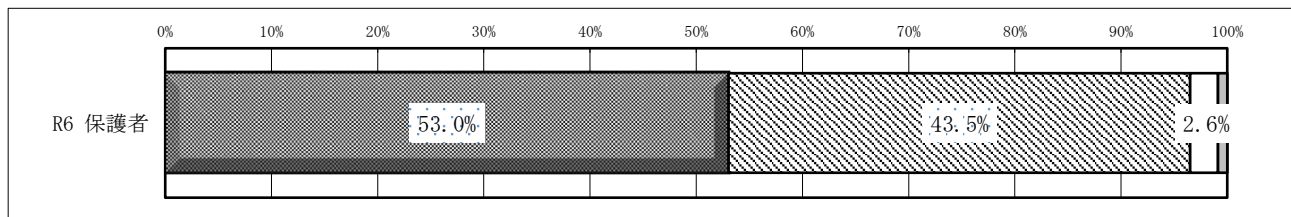
- ・ 1、2年生生活科…豊橋総合動植物公園で秋見つけ
- ・ 3年生社会科・総合的な学習の時間…消防団器具庫見学、中消防署見学、サンヨネ見学
- ・ 4年生総合的な学習の時間…江川の水門、江川排水機場見学
- ・ 5年生総合的な学習の時間…喜寿苑清須の見学、入居者との交流
- ・ 6年生の総合的な学習の時間…豊橋公園の戦争遺跡の見学

6年生の総合的な学習の時間では、地域にあるSDGsに取り組んでいる事業所を調べ、見学や講話を通して持続可能な取り組みとはどんなことか、自分たちがやるべきことは何かを考え深めることができました。吉田商会のかたを招き、自動車ドアの分解を見せていただいたり、濱金商店、NDS 豊橋支店を訪問したりしました。名古屋女子大学の学生と教授から、エシカル消費について学びました。きりん食堂との関わりからコンビニのフードドライブボックス回収も見学しました。



子どもたちと複数の教職員が関わることにより、一人一人にきめ細やかな指導ができる体制をつくり、成果を上げられるように努めています。「お話タイム」を全校で毎週金曜日の朝8時30分から45分までの15分間で取り組み、テーマに沿って話す力や聞く力の育成に努めました。漢字と計算の「力試し」を年間3回実施し、全員が合格できるように根気強く指導をしています。子どもたちにとっては、合格が達成感となり、その後の意欲的な学習につながっています。ご家庭でもお子さんを励まし、協力してくださり、ありがとうございます。今後も学ぶ楽しさや喜びを実感できる学習活動と確かな学力を身につけるためのきめ細やかな指導に努めていきます。

2 学校は思いやりの心や感動する心など、豊かな心を育てる取り組みを行っている。また、読書に親しむ態度の育成に努めている。



1、2年生は、穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主催の「ダンスによる表現体験ワークショップ」を行いました。ファシリテーター（進行役）として、城俊彦さんにお越しいただきました。子どもたちは、講師の先生やペアになった友達の動きをよく見て、速い・遅い、曲げる、ねじる、飛ぶ、走るなどさまざまなバリエーションの動きを真似して大いに盛り上がりました。音楽に合わせて、動き方を変えながら全身を使って表現を楽しみました。

6年生は、豊橋市の文化芸術体験推進事業として PLAT にて、劇団四季ファミリーミュージカル「ガンバの大冒険」の鑑賞をしました。劇場で、プロの迫真の演技や舞台演出に刺激を受け、津田っ子発表会ではどの子も生き生きと演技を行いました。

校舎の1階には、しかすがライブラリー（学校図書館）があります。毎週水曜日に図書館司書が在室し、本の修理や授業の教材になる本を授業・学習支援センターから借りて用意しています。図書館司書と図書館主任のT Tによる学習サポートを以下のように行っています。

1 学期・図書館司書と担任による図書館利用のオリエンテーション

2 学期・2年生「図鑑の使い方」

・5年生「年鑑の使い方」

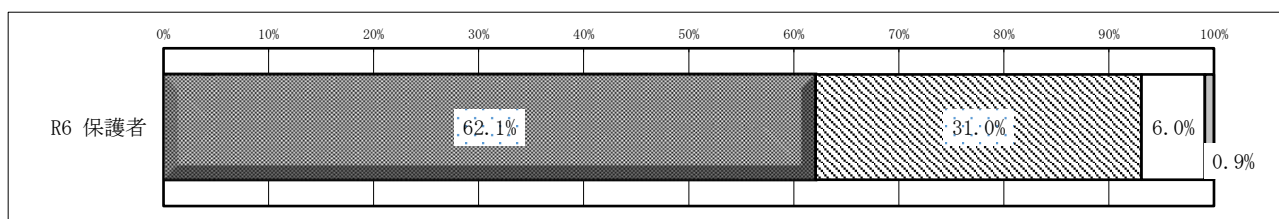
3 学期・3、4年生「百科事典の使い方」

・6年生「北部中学校の図書館について」

今年度からの取り組みとしては、6年生が下級生の読み聞かせに「大型絵本」を用いました。地域の「きりん食堂」に大型絵本の貸し出しを行い、読み聞かせ活動に協力しました。更に、図書館内に「本のリクエストポスト」を設置し、13冊（1月現在）購入しました。子どもの意見を取り入れた身近な図書館であるよう、子どもが読みたい本のリクエストができるシステムづくりを行い、学校全体で豊かな心の教育を充実させていきたいと考えています。



3 私の子どもは学校で友達と仲よく過ごしている。また、学校はいじめの未然防止や相談体制の充実にも努めている。



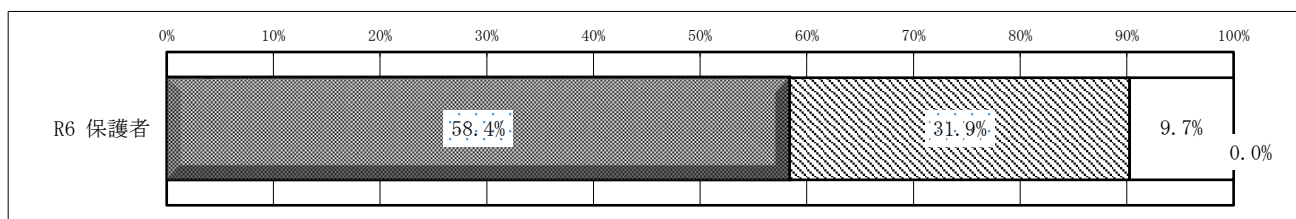
「子どもには楽しく学校に通ってほしい」「仲よく協力して学校生活を送ってほしい」これは、教職員だけでなく、保護者も含めたみんなの願いです。そのために、学校では教職員

で子どもたちを見守っています。気になることは担任に伝え、情報共有し、必要に応じて保護者にも連絡を取ります。保護者の中にも、気になることをすぐに連絡してくださるかたもあり、お子さんの悩みに寄り添い、しっかり向き合ってくださいしています。

「学校生活についてのアンケート」を年4回実施し、それをもとに担任は一人一人の子どもと面談し、様子を把握するよう努めています。月に1回程度、スクールカウンセラーに相談にのってもらったり、様子を見てアドバイスをもらったりしています。

子どもの中には、まだまだ不安を抱えている子がいます。学校と家庭とが連携し、いじめなどの問題の早期発見、早期対応をして解決にいたるてだてを見つけていきたいと思います。

4 学校は、子どもの話をよく聞き、よいところを認め励まし、自信をもたせようと努めている。

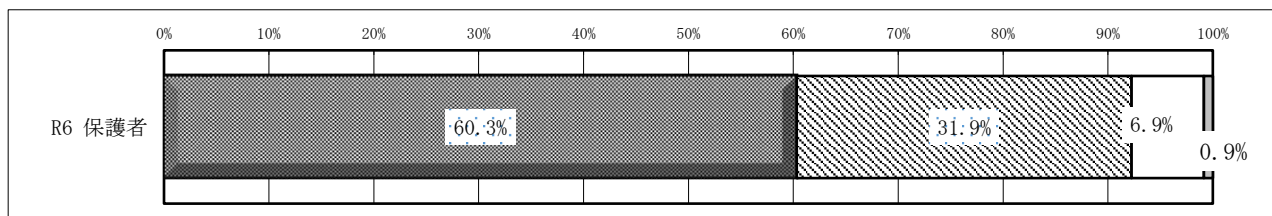


帰りの会では、その日に他者を思いやる行動をとることのできた友達やがんばっていた友達を発表し、たたえ合う時間を設けています。名前を呼ばれた子は、うれしそうにまたは少し恥ずかしそうにしながらも笑みを浮かべます。今年度は、全校朝会でも「こころの花」として、子どもががんばっている姿や心が温くなる言葉がけなど教職員が見とった子どものよいところを紹介しています。掃除が丁寧にできる子、挨拶が元気よくできる子など名前をあげて、教職員が全校児童に伝えると子どもたちに笑顔の輪が広がります。

本校では、縦割り班活動に力を入れています。高学年はリーダーとして考え行動し、中学年は高学年を支え、低学年は上の学年への親しみや憧れをもって、一緒に掃除をしたり遊んだりしています。それぞれが役割を果たす中で、異学年での交流が活発になり、所属意識が高まり、自信がついていきます。

今後も、子どもたちの素敵などところを見つけ、一人一人が心ゆたかに自信をもって学校生活を送ることができるように全ての教職員で子どもたちを見守っていきます。

5 学校は子どもの体力向上や心身の健康増進のための取り組み(外遊び、運動など)を行っている。



体育の授業では、「たのしい体育」という副読本を活用したり、ワークシートを作成したりしながら体の動かし方や技能向上の方法を考えました。授業終わりには振り返りを書き、日々の成長を蓄積しました。駆け足運動では、「マラソン記録カード」を使ったり、試走からタイムを計って記録したりしたことで、本番までの具体的な目標をもつことができました。

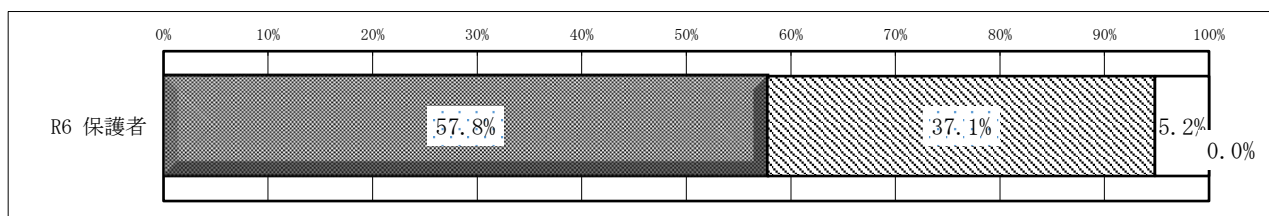
2月6日には、縦割り活動の「長縄集会」を予定しています。休み時間に高学年が率先して、練習を行い、縦割り班でまとまって練習をする姿を見ることができます。3分間で8の字跳び100回を目ざし協力してがんばります。

今年度の保健指導は、以下の通りに実施しました。

- ・メディアコントロールチャレンジ…メディア使用時間や就寝時間などの生活習慣をチェックすることで自分の生活の見直し
- ・歯の健康のための活動…フッ素洗口、給食後の歯みがき
- ・学校保健委員会…スクールカウンセラーと連携して企画。エゴグラムを用いた自分の性格判断とリフレーミングについて保健委員が発表

学校評議委員会では、ネガティブな言葉をポジティブな言葉に変えるリフレーミングが子どもたちの心の成長によいというご意見をいただきました。

6 学校は挨拶、係活動や当番活動、クラブ活動などを通して、社会性や責任感、役割意識、夢を育む取り組みを行っている。



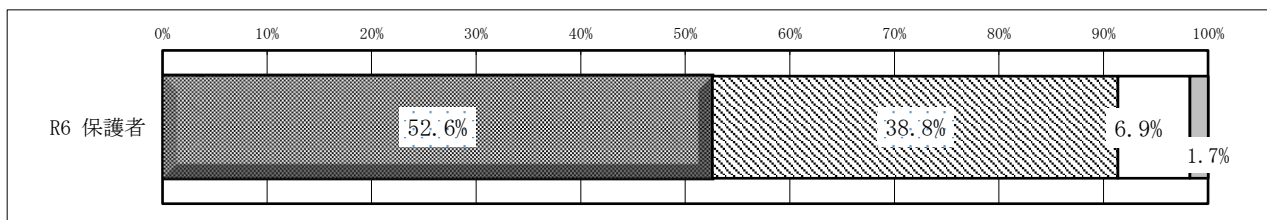
学校生活のあらゆる場面で、社会性や責任感を養う取り組みを行っています。

委員会活動では、4月に活動や目標を考え、スタートをしました。企画委員会では挨拶をきっかけに津田小学校を明るくしたいという思いから、6月にあいさつ集会を開き、元気な挨拶をしようと呼びかけ、有志によるあいさつ運動を行いました。どの委員会も集会を開いたり、キャンペーン活動を行ったりすることで、それぞれの活動が充実しています。

縦割り班で行う清掃活動では、高学年が掃除場所ごとに分担を決めています。重い机を高学年の子が運んだり、低学年ができることを考えたりして活動する中で、思いやりの心を育んでいます。

縦割り遊びでは、上級生が下級生にボールの投げ方を教える姿や力の加減をして全員が楽しめるように工夫する姿が見られました。異学年交流を積極的に行い、高学年はリーダーとしての意識を高め、下級生はそんな高学年に親しみや憧れの気持ちをもっています。

7 学校は施設設備の整備を適切に行い、安心して生活できる環境づくりに努めている。



子どもたちが安心して安全に学校生活を送ることができるように、教職員で月一回の安全点検を行っています。不備が見つかった際は、すぐに対応しています。子どもたちにも教室内の整理整頓を呼びかけ、安心して生活できる環境づくりに努めています。

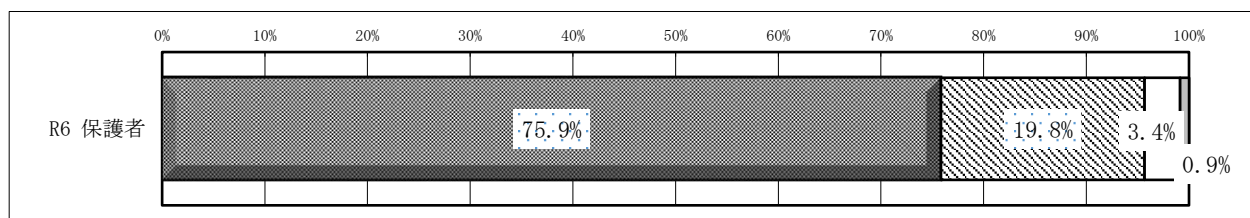
バリアフリー化して全ての子どもが、楽しく快適に過ごすことができるようにしています。雨降りの登下校でも、運動場で快適に歩けるよう、通路を設置しました。

今年度の遊具点検では、大型の遊具に、金属部分の摩耗や木部の割れや腐朽が発見されました。使用に問題はありませんがどうしても老朽化や劣化は防げません。経過観察をしながら児童が安全に遊ぶことができるように必要に応じて補修工事を行う予定です。

塗装の劣化が激しかったプール施設は、7月で利用停止となりました。水泳の授業は、来年度から民間プール施設での実施となります。今まで水質や水温・気温や天候により、実施できないときがありましたが、そのようなことはなくなります。借り上げバスで移動し、天候に左右されることなく環境の整った室内プールでの水泳学習を実施する予定です。

今後も、安全な学校生活を送るための施設・設備の管理を行っていくとともに子どもへの安全に対する意識を高める指導をしていきます。

8 学校は子どもたちの登下校の安全確保のために、家庭・地域と連携して取り組んでいる。

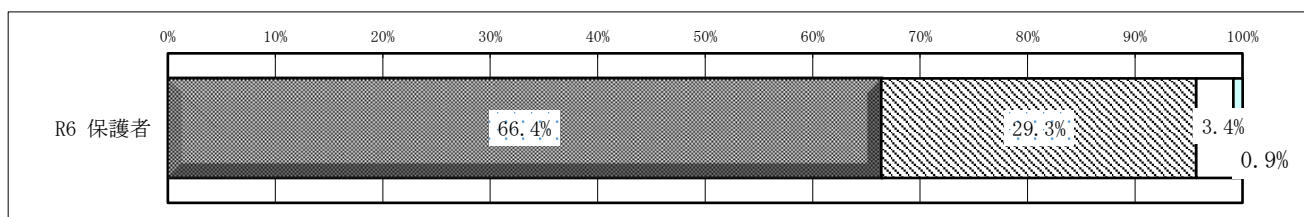


子ども見まもり隊や更生保護女性部のかたによるボランティア活動のおかげで、安心・安全に登下校をすることができ、多くの保護者から安全確保について肯定的な回答をいただきました。天候や工事等で登下校が安全に行えるか心配な場合には、状況を把握し、要注意箇所には教職員を派遣して、交通指導や付き添い下校を実施しています。保護者、地域のかたから情報をいただき、子どもたちへ登下校時での安全指導をしています。すぐに改善されるものばかりではありませんが、今後も根気よく指導を続けていきます。

今年度4月から、津田校区には昨年度は不在だった交通指導員を配置していただきました。登下校の見守りだけでなく、新入児童交通安全教室や3年生対象の自転車教室の実地指導に加わったり、安全生活課からの交通安全に関する情報を提供したりするなど子どもたちの安全・安心のための役割を担っています。



9 学校は授業や行事等を参観したり、話し合ったりする機会を適切に設け、意見や要望を聞き、改善しようと努めている。



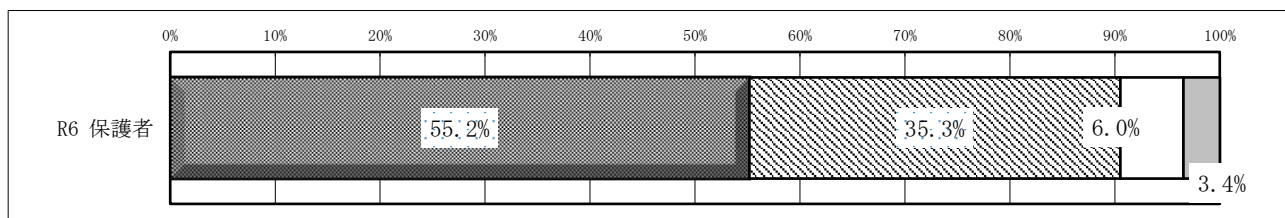
年間4回の授業参観を実施しています。学校評議員にも行事や子どもたちの授業の様子等

を見て、学校経営についてご意見をいただくようにしています。

マラソン記録会では、多くの応援をいただき、子どもたちにとって大変励みとなりました。本校の行事を記録した動画などをインターネットへの公開や共有禁止にも、ご理解とご協力をいただきありがとうございました。

これからも行事や授業参観など保護者に来校していただき、子どもたちの様子を見ていただく機会を設けます。家庭科の実習支援、校外学習や自習見守りボランティアなどを募集し、来校する機会を増やしていきたいと考えています。学校での取り組みをご家庭で話題にして、がんばった点は大いに褒めていただきたいと思います。学級懇談会や個人懇談会では、学校での子どもたちの様子や担任のこんな子どもたちに育てたいという思いを伝えさせていいただきました。懇談会の折だけでなく、お子さんのことについての相談などは随時お受けしています。今後も学校と地域と家庭が連携し、元気に素直に一生懸命になにごともに取り組める子どもたちを育てていきます。

10 学校からの文書やたよりは、わかりやすく、タイムリーである。



今年度は、月予定を学年通信ではなく、学校として一括で連絡しました。データ配付で保護者に速やかに確実にお伝えすることができたと考えています。通信『TSUDA』では、スクールカウンセラーの紹介や申し込み案内、行事の様子を紹介してきました。学校新聞を年2回発行し、学校や各学級の目ざすところや取り組み等について、自治会で回覧してもらい校区のかたにも学校のことを知ってもらえるようにしています。今後も必要な情報をよりタイムリーにお知らせしていきます。

保健に関する通信『すこやか』は、基本的な生活習慣や、メディアコントロール、定期健診や食に関するお願いなどを掲載し、子どもたちの健やかな成長のための情報をお知らせしました。

学校ホームページには、『気象情報、災害注意情報等発表時の本校の対応について』『学校の施設用計画』など緊急時に備えた内容の他に、『生活のやくそく』や行事のプログラムなどを公開しています。ホームページの学校日記には、学校での行事の様子など、その時々の記事を掲載していますのでご覧ください。